

第 4 章

学校質問紙調査

I 小学校における学校質問紙調査の結果について

1 調査の概要

本調査は、今年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を行った第5学年の児童を対象として、学校における指導方法等に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備状況、またその取組や条件の整備状況と学力の定着状況との関連を調査するものである。（各小学校において校長の責任で回答）

2 調査結果の概要

＜調査結果と各教科の正答率との関連＞

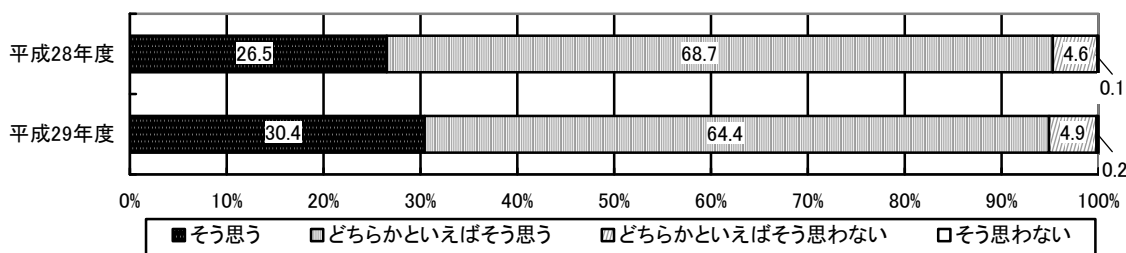
グラフは、回答の項目ごとの割合（単位：％）を昨年度と比較し、示したものである。

表は、それぞれの回答ごとの「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果の各教科の平均正答率（単位：％）を示したものである。

なお、グラフは全学校の結果から、表は抽出校（約10％）の結果から作成している。また、数値を四捨五入していることや、その他の項目を除外していることから、合計が100％にならないことがある。

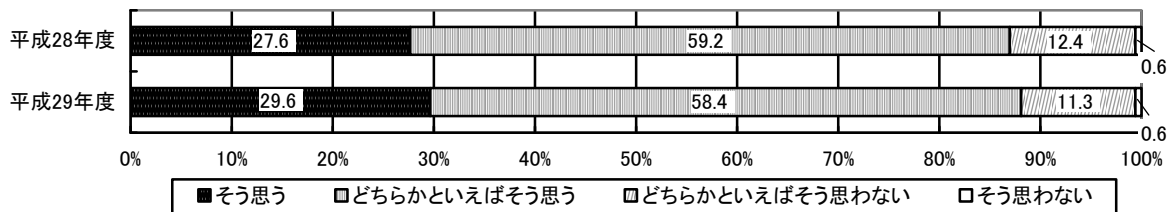
1 学習態度にかかわる事項について

(1) 児童は意欲的に勉強している。



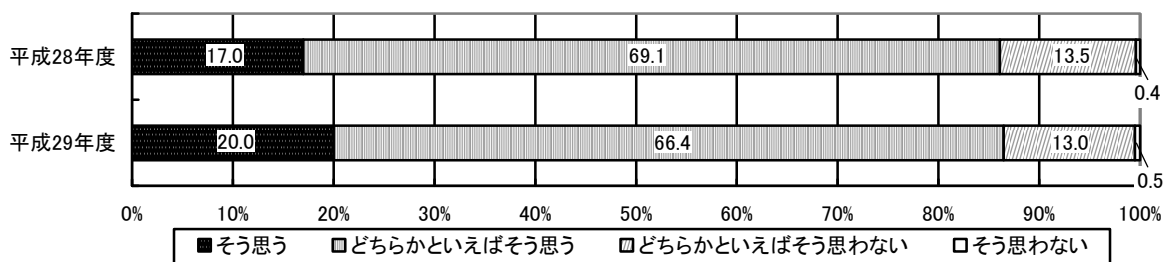
学習に対する児童の意欲と平均正答率との関係	平均正答率（％）				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
そう思う	71.5	73.3	62.5	73.6	70.2
どちらかといえばそう思う	69.0	71.2	60.1	71.7	68.0
どちらかといえばそう思わない	65.7	69.3	57.6	70.7	65.8

(2) 児童は授業中の私語が少なく、落ち着いている。



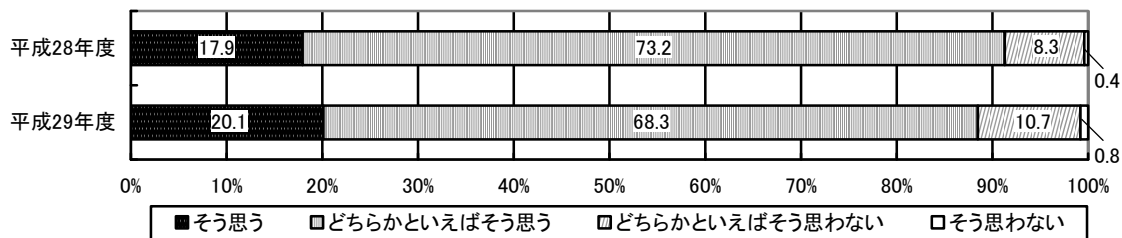
児童の落ち着きと平均正答率との関係	平均正答率（％）				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
そう思う	70.5	73.0	61.7	73.2	69.6
どちらかといえばそう思う	69.0	71.5	60.2	71.9	68.2
どちらかといえばそう思わない	69.9	69.4	60.9	71.0	67.8

(3) 児童は礼儀正しい。



児童の礼儀正しさと平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
そう思う	71.8	73.6	62.1	73.9	70.4
どちらかといえばそう思う	69.0	71.4	60.4	71.9	68.2
どちらかといえばそう思わない	68.3	70.3	59.8	70.8	67.3

(4) 児童はきまりを守っている。

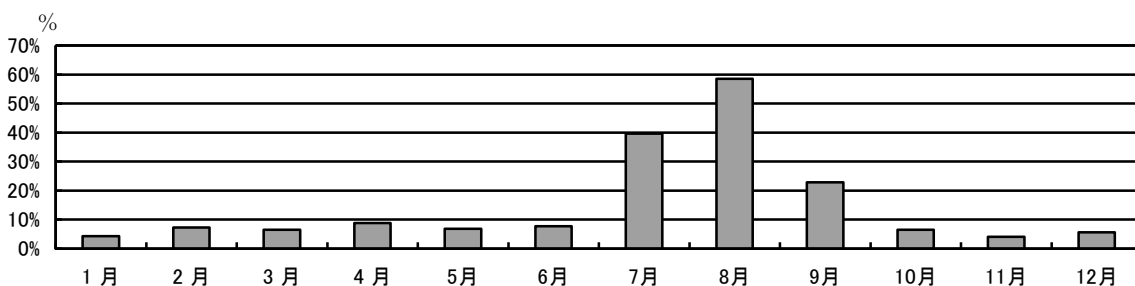


きまりを守ることと平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
そう思う	71.7	72.9	62.2	73.6	70.1
どちらかといえばそう思う	69.4	71.7	60.5	72.1	68.5
どちらかといえばそう思わない	67.3	70.3	59.5	70.7	67.0

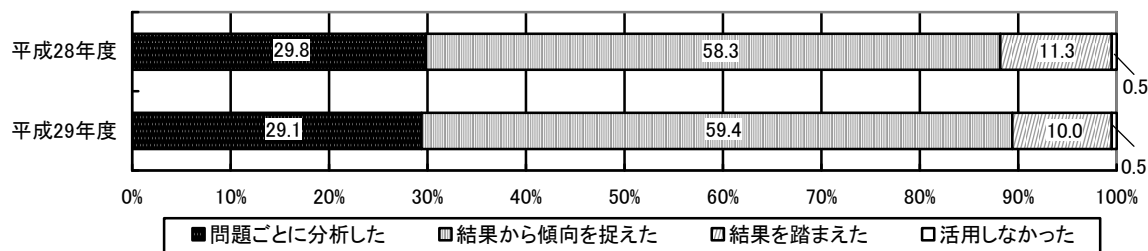
- ・ 学習態度にかかわる事項の質問について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した学校の割合は、80%以上である。
- ・ 全ての質問において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」の順に教科合計の平均正答率が高くなっている。

2 授業改善に関する事項について

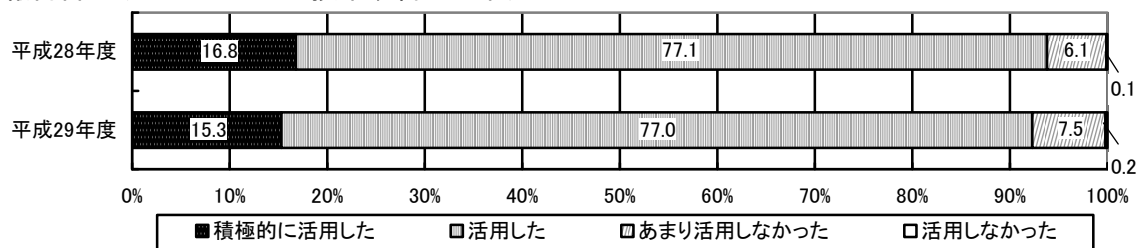
(1) 授業改善推進プランの作成時期について(複数回答)



(2) 授業改善推進プランを改善する際の、調査結果の活用について



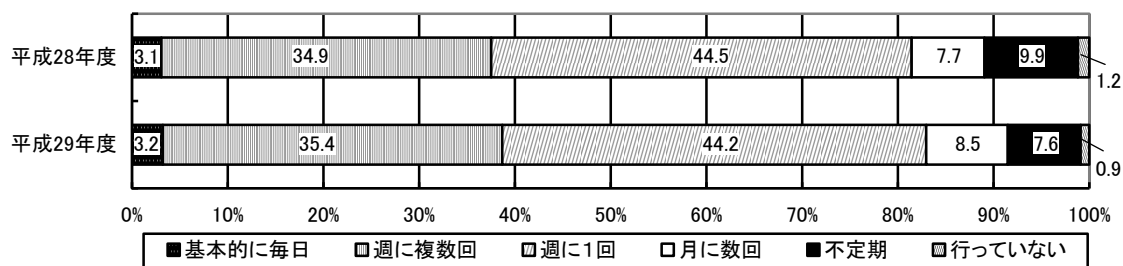
(3) 報告書やリーフレットの授業改善への活用について



- 授業改善推進プランの作成時期は8月が最も多く、次いで7月、9月となっている。このことから、本調査を7月に実施した後、自校の採点結果を踏まえて、授業改善推進プランの改善に生かしていると考えられる。
なお、授業改善推進プランは、国や区市町村独自の学力調査等も活用して、2回以上見直す(PDCA)ことが大切である。
- 授業改善推進プランの作成において、本調査結果や報告書、リーフレット等を活用している学校の割合は90%以上である。一方、報告書やリーフレットを「あまり活用しなかった」「活用しなかった」と回答した学校の割合は7.7%である。

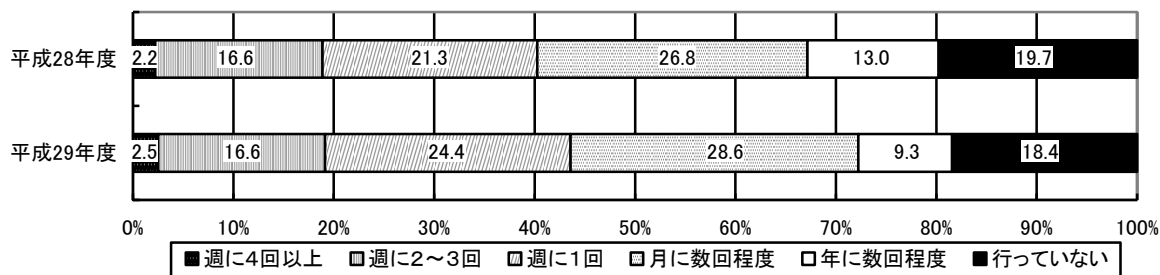
3 前年度に取り組んできたことについて

(1) 「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けたか。

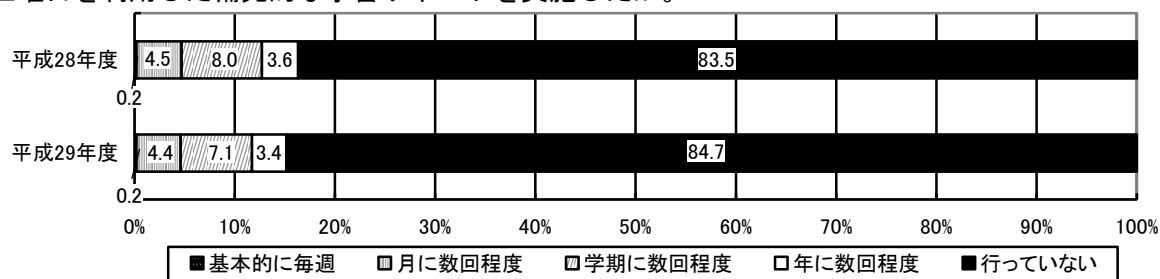


朝の読書と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
基本的に毎日行った	62.7	67.5	56.1	71.1	64.3
週に複数回、定期的に行った	67.8	71.0	58.9	71.6	67.3
週に1回、定期的に行った	70.6	72.3	61.9	72.6	69.3
月に数回程度、定期的に行った	68.6	71.0	59.5	71.1	67.6
不定期に行った	72.1	72.9	63.0	73.8	70.5

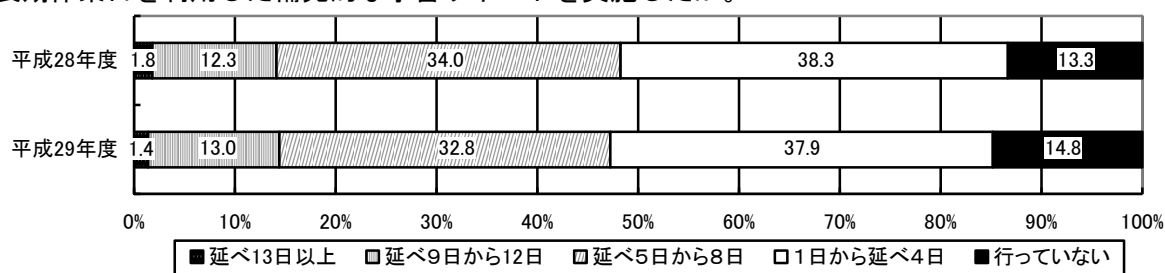
(2) 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施したか。



(3) 土曜日を利用した補足的な学習サポートを実施したか。



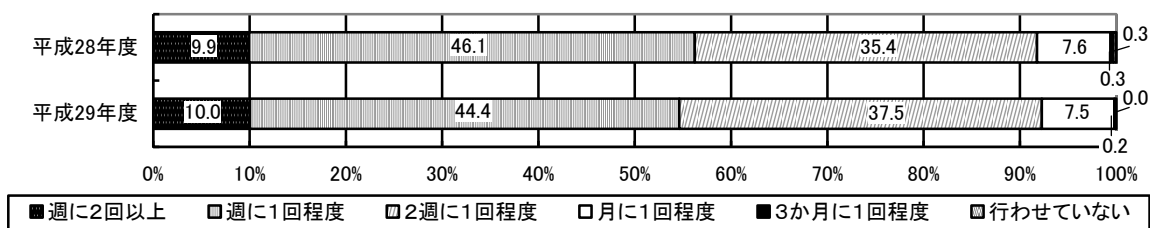
(4) 長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施したか。



4 理科の授業に関わる事項について

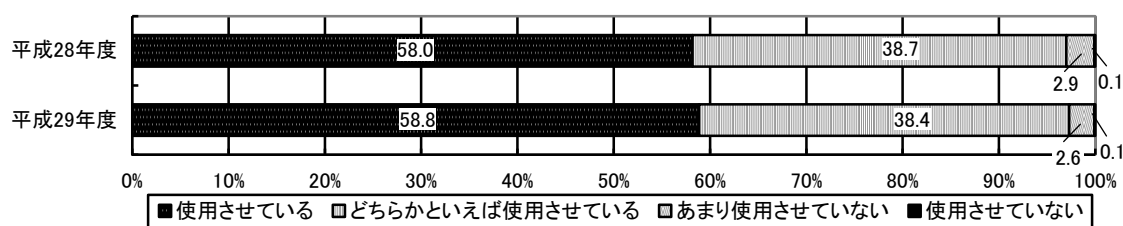
(1) 今年度の4～6月に観察・実験をどの程度行わせたか。

なお、ここでの「観察・実験」とは、児童が実際に器具などを使って直接活動するものとし、観察・実験の方法を考えたり結果を考察したりするなど観察・実験の前後の時間は含まない。



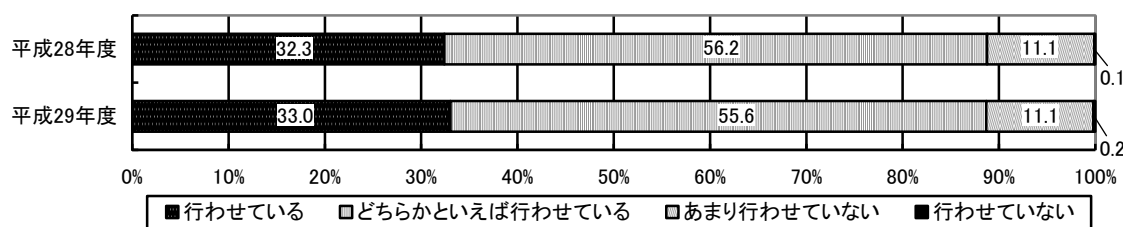
観察・実験の回数と平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
週に2回以上	72.3
週に1回程度	72.3
2週に1回程度	72.4
月に1回程度	71.1

(2) 観察・実験において、児童に様々な器具や薬品等を使用させているか。



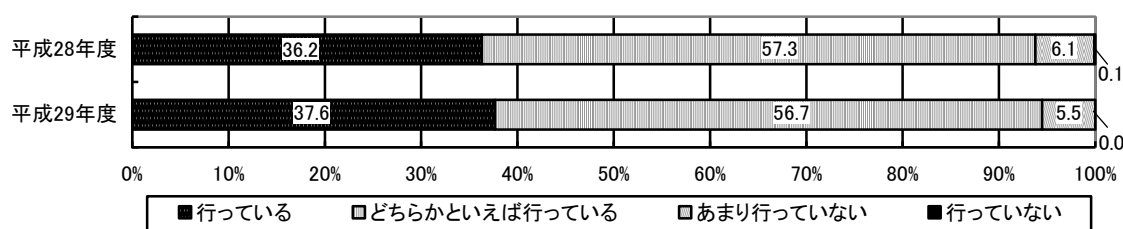
実験器具や薬品を使用する頻度と平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
使用させている	71.9
どちらかといえば使用させている	72.8
あまり使用させていない	74.2

(3) 児童の考えを生かした様々な方法で観察・実験を行わせているか。



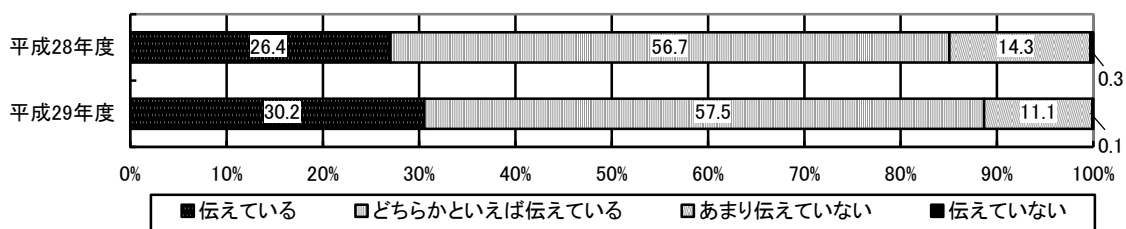
児童の考えを生かした様々な方法での観察・実験の実施と平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
行わせている	73.2
どちらかといえば行わせている	71.5
あまり行わせていない	72.4

(4) 理科の学習内容と日常生活の事象とを関連付けた指導を行っているか。



理科の学習内容と日常生活の事象とを関連付けた指導の実施と平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
行っている	72.6
どちらかといえば行っている	71.8
あまり行っていない	74.7

(5) 科学への興味を喚起することにつながる情報を児童に伝えているか。

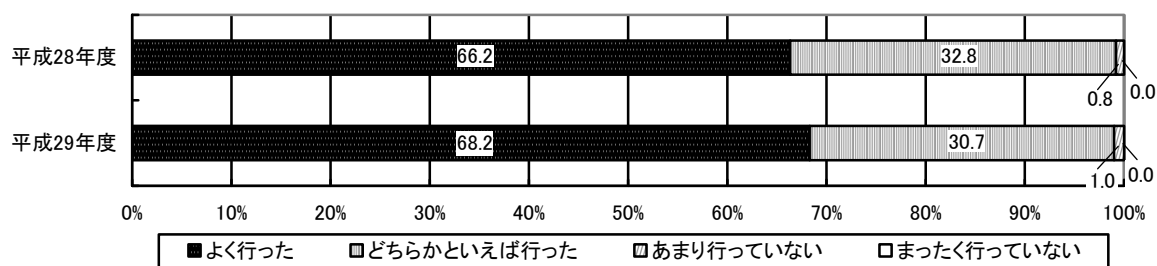


科学への興味を喚起することにつながる情報を児童に伝えているかと平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
伝えている	72.9
どちらかといえば伝えている	71.6
あまり伝えていない	73.2

- ・ (1)の質問で「2週に1回程度」以上観察・実験を行わせたと回答した学校は、「月に1回程度」と回答した学校より理科の平均正答率が高くなっている。
- ・ (2)から(5)までの理科の授業に関わる質問について、「している」「どちらかといえばしている」と回答した学校の割合は、80%以上である。

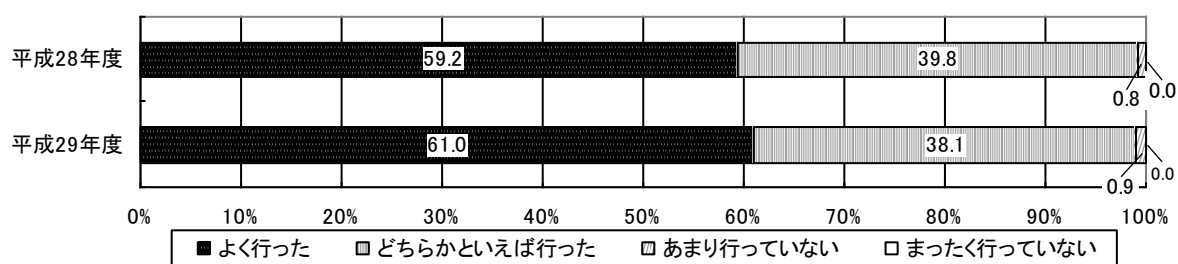
5 指導等に関わる事項について

(1) 学習規律の維持を徹底した。



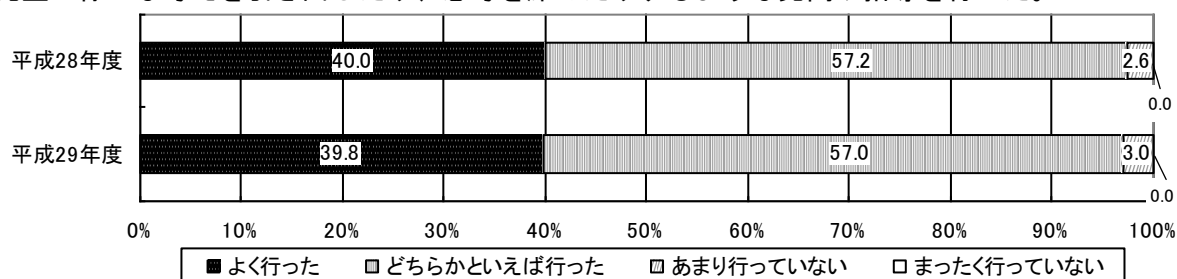
学習規律の維持と平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	70.2	72.3	61.3	72.5	69.1
どちらかといえば行った	68.6	70.8	59.6	71.8	67.7
あまり行っていない	63.4	70.4	61.1	71.5	66.6

(2) 学習方法に関する指導を行った。



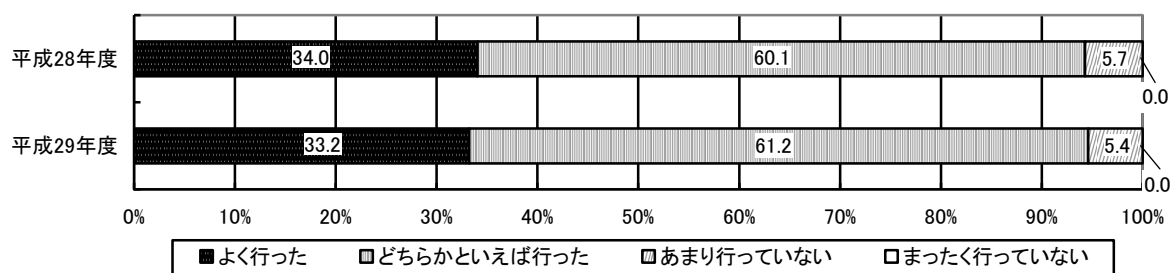
学習方法に関する指導と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	70.1	72.1	61.1	72.4	69.0
どちらかといえば行った	68.8	71.3	60.0	71.9	68.0

(3) 児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行った。



考えを引き出したり思考を深め たりする発問や指導と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	70.9	73.0	61.9	73.4	69.8
どちらかといえば行った	69.0	71.2	60.2	71.7	68.0
あまり行っていない	64.9	68.5	56.2	68.9	64.6

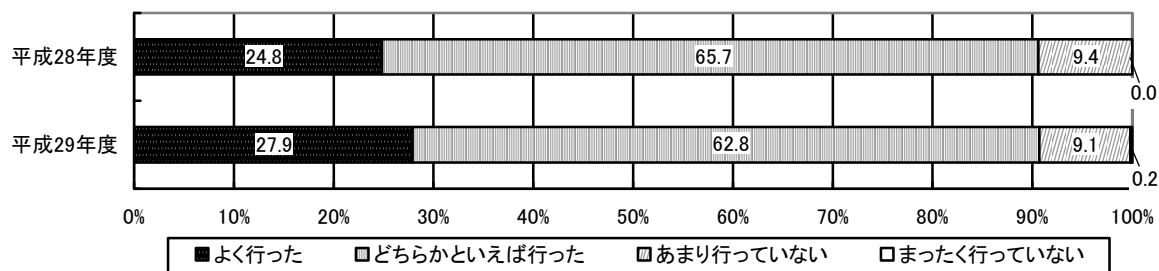
(4) 児童の思考力・判断力・表現力等を育むための言語活動の充実を図った。



言語活動の充実と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	69.3	71.8	59.9	72.2	68.3
どちらかといえば行った	70.0	72.0	61.3	72.4	68.9
あまり行っていない	65.9	69.8	59.4	69.9	66.3

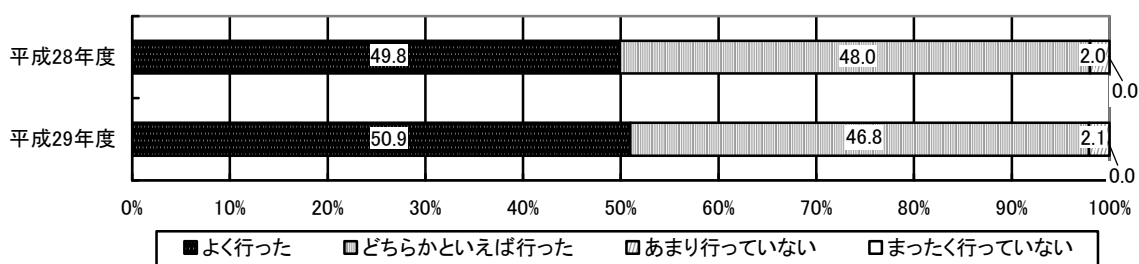
- ・ (1)から(4)までの質問について、「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の割合は、90%以上である。一方、「あまり行っていない」「行っていない」と回答した学校の割合は、約1%～5%程度である。
- ・ 「児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行った」について、「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の平均正答率は、「あまり行っていない」と回答した学校の平均正答率よりも高くなっている。

(5) 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くように指導を行った。



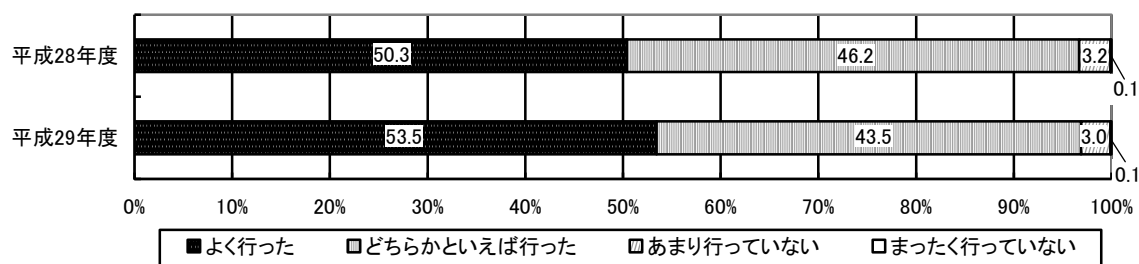
資料の調べ方に関する指導と平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	70.5	72.6	61.6	73.0	69.4
どちらかといえば行った	69.1	71.5	60.6	71.9	68.1
あまり行っていない	70.0	70.9	62.2	72.3	68.9

(6) 児童の発言や活動の時間を確保して授業を進めている。



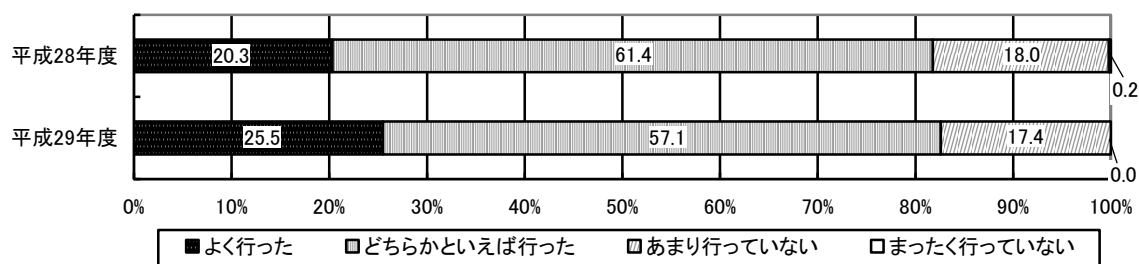
児童の発言や活動の時間と平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	69.9	71.9	60.6	72.5	68.7
どちらかといえば行った	69.3	71.7	60.8	72.1	68.5
あまり行っていない	62.7	69.5	64.5	69.0	66.4

(7) 学級やグループで話し合う活動を授業などでやっている。



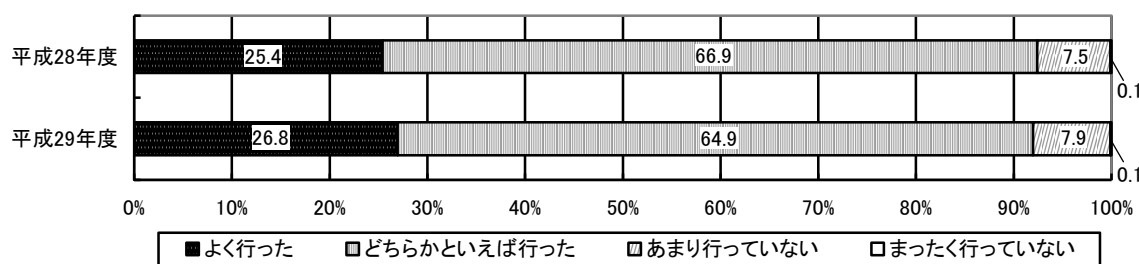
学級やグループで話し合う指導 と平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	70.1	72.3	61.1	72.6	69.0
どちらかといえば行った	69.2	71.2	60.3	71.9	68.2

(8) 授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現する等の学習活動を取り入れている。



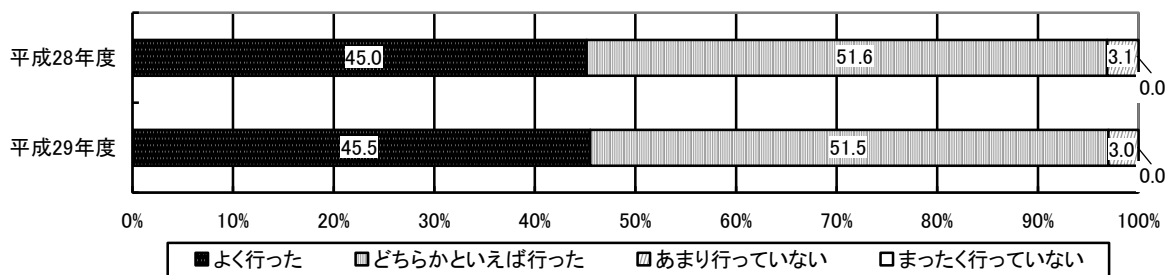
課題解決学習と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	71.1	72.8	61.9	72.8	69.7
どちらかといえば行った	68.6	71.0	59.7	71.7	67.7
あまり行っていない	69.6	72.3	61.8	72.7	69.1

(9) 資料を使って分かりやすくまとめられるように指導を行った。



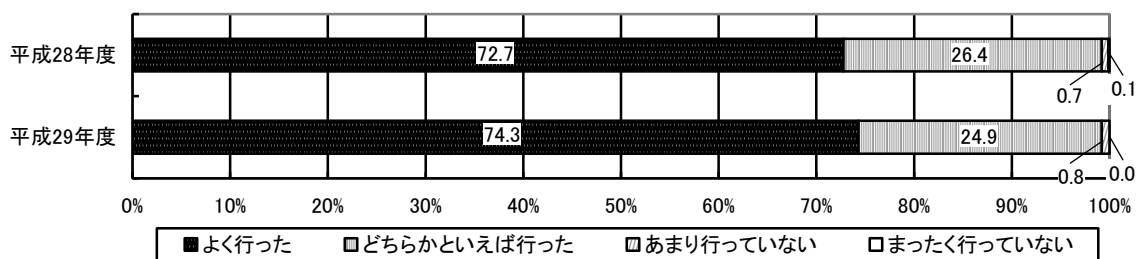
資料を使ってまとめさせる指導 と平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	69.6	71.3	59.8	71.8	68.1
どちらかといえば行った	69.6	71.9	60.9	72.3	68.7
あまり行っていない	69.9	73.0	63.2	74.1	70.0

(10) 調べたことや考えたことを文章に書かせたり、発表させたりする指導を行った。



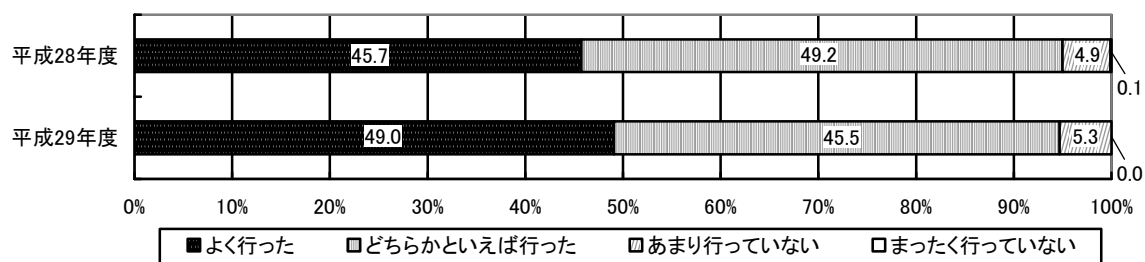
調べたことや考えたことを表現さ せる指導と平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	69.9	71.6	60.7	72.2	68.6
どちらかといえば行った	69.5	72.0	60.8	72.4	68.7
あまり行っていない	63.7	70.4	60.0	69.3	65.9

(11) 授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童に示す活動を計画的に取り入れている。



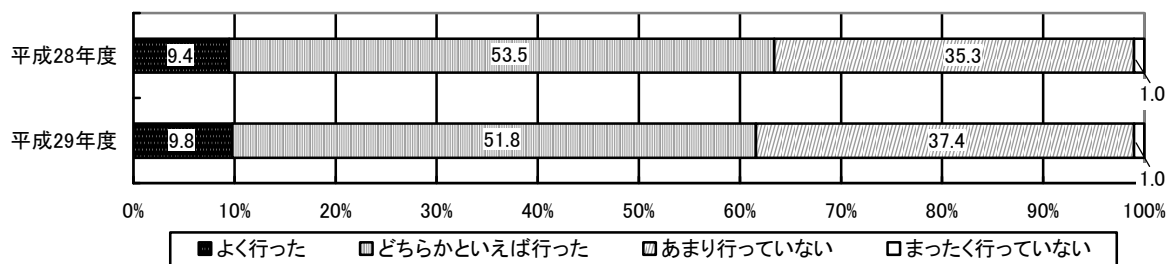
授業の中で目標を示す指導と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	70.2	72.1	61.1	72.5	69.0
どちらかといえば行った	67.9	70.6	59.1	71.4	67.1
あまり行っていない	61.9	70.8	61.9	68.0	65.6

(12) 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている。



振り返る活動と平均正答率の関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	70.5	72.4	61.4	72.7	69.3
どちらかといえば行った	69.3	71.5	60.4	72.0	68.3
あまり行っていない	66.7	70.9	59.7	72.0	67.3

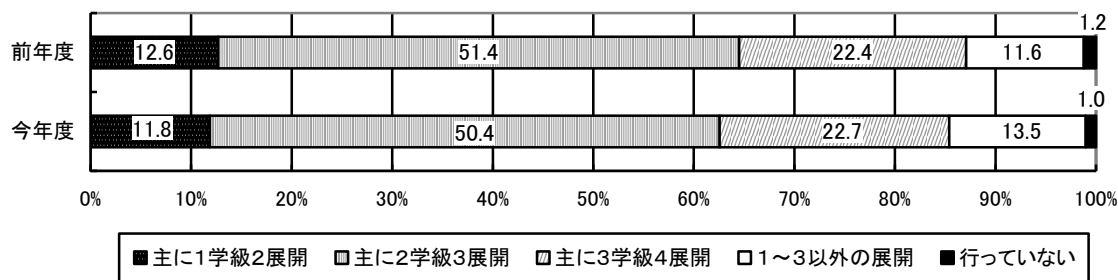
(13) 児童に対して、その日に指導した学習内容について、家で何をどのように復習すればよいのかを具体的に示した。



具体的な家庭学習の方法等の指導と平均正答率との関係	平均正答率 (%)				
	国語	社会	算数	理科	教科合計
よく行った	69.6	71.1	60.5	73.2	68.6
どちらかといえば行った	69.5	72.1	60.6	72.0	68.6
あまり行っていない	69.8	71.4	61.0	72.3	68.6

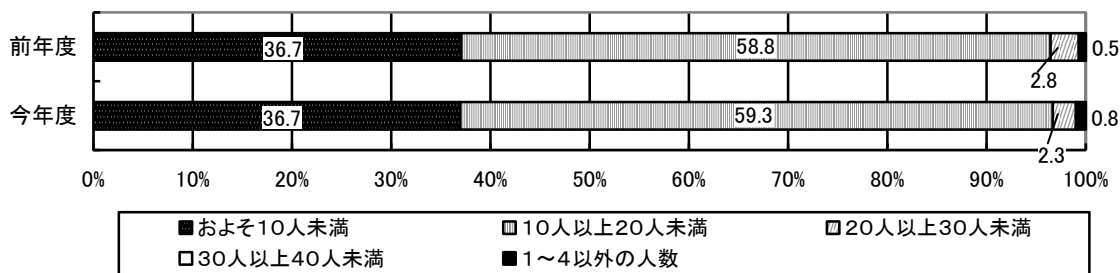
- ・ (5)から(12)までの質問について、「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の割合は、80%以上である。
- ・ 「授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童に示す活動を計画的に取り入れている」、「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている」について、「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の割合は90%以上であり、多くの学校で行われている。それらの学校の平均正答率は、「あまり行っていない」と回答した学校の平均正答率より高くなっており、児童に目標を示し、学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れることが大切である。
- ・ (8)の質問について「あまり行っていない」と回答した学校の割合は17.4%であり、また、(13)の質問について「あまり行っていない」「まったく行っていない」と回答した学校の割合は38.4%である。

6 算数の授業における習熟度別指導の展開数



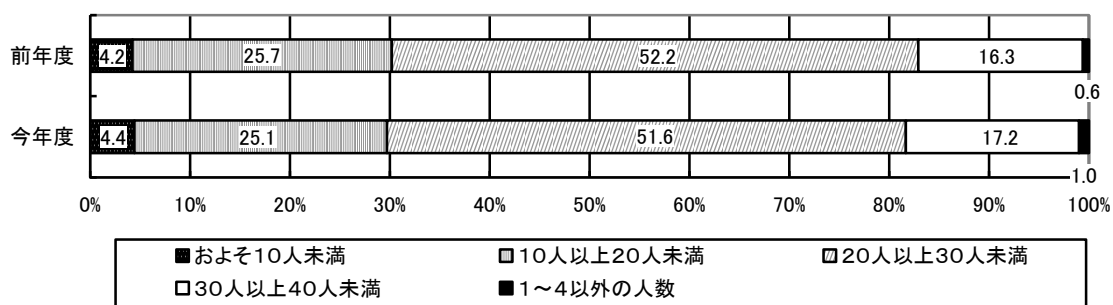
習熟度別指導の展開数と平均正答率との関係	算数の平均正答率 (%)
主に1学級2展開	61.4
主に2学級3展開	62.5
主に3学級4展開	58.0
上記以外	60.2

7 算数の授業において、習熟の最も遅い児童のグループの人数



習熟の最も遅い生徒のグループの人数と平均正答率との関係	算数の平均正答率 (%)
およそ10人未満	59.9
およそ10人以上20人未満	61.3
およそ20人以上30人未満	56.4

8 算数の授業において、習熟の最も早い児童のグループの人数



習熟の最も早い生徒のグループの人数と平均正答率との関係	算数の平均正答率 (%)
およそ10人未満	58.2
およそ10人以上20人未満	61.0
およそ20人以上30人未満	61.1
およそ30人以上40人未満	60.1

Ⅱ 中学校における学校質問紙調査の結果について

1 調査の概要

本調査は、今年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を行った第2学年の生徒を対象として、学校における指導方法等に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備状況、またその取組や条件の整備状況と学力の定着状況との関連を調査するものである。（各中学校において校長の責任で回答）

2 調査結果の概要

＜調査結果と各教科の正答率との関連＞

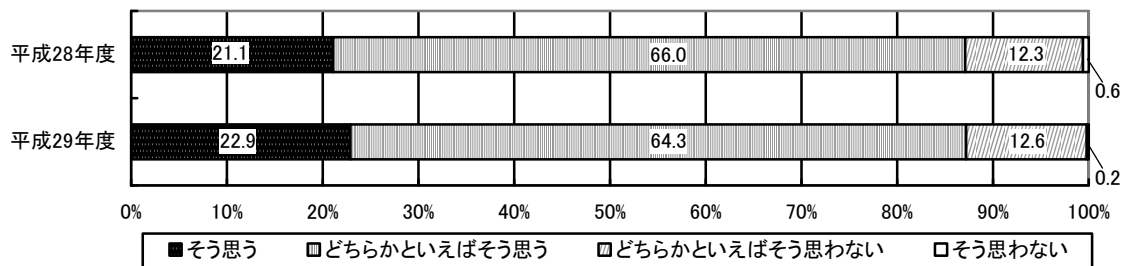
グラフは、回答の項目ごとの割合（単位：％）を昨年度と比較し、示したものである。

表は、それぞれの回答ごとの「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果の各教科の平均正答率（単位：％）を示したものである。

なお、グラフは全学校の結果から、表は抽出校（約10％）の結果から作成している。また、数値を四捨五入していることや、その他の項目を除外していることから、合計が100％にならないことがある。

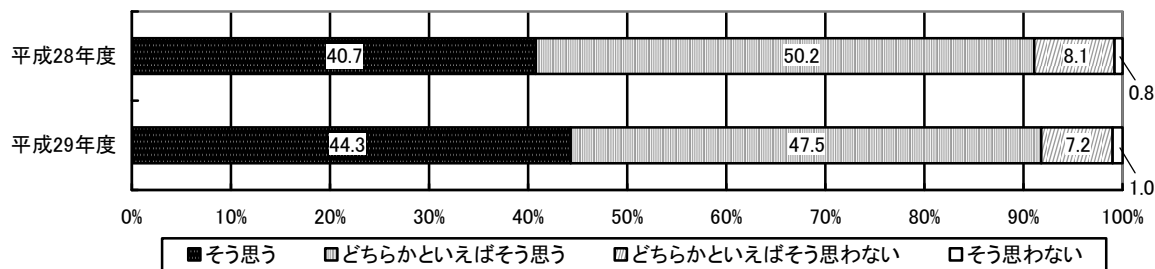
1 学習態度にかかわる事項について

(1) 生徒は意欲的に勉強している。



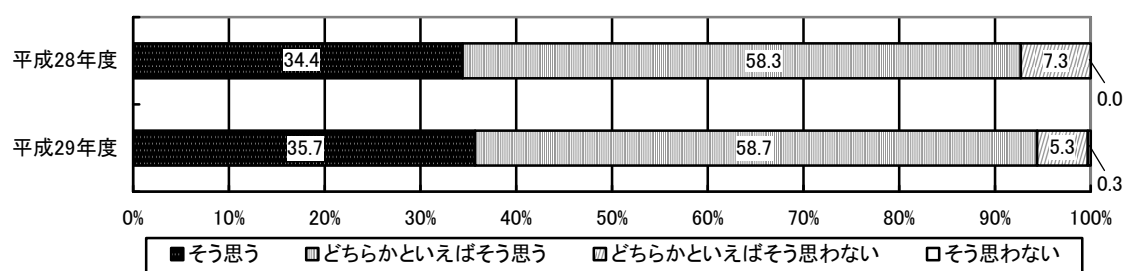
学習に対する生徒の意欲と平均正答率との関係	平均正答率（％）					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	74.6	58.3	56.1	58.3	67.9	63.0
どちらかといえばそう思う	73.0	56.1	53.1	56.9	64.7	60.8
どちらかといえばそう思わない	69.2	51.9	48.1	51.7	59.8	56.1

(2) 生徒は授業中の私語が少なく、落ち着いている。



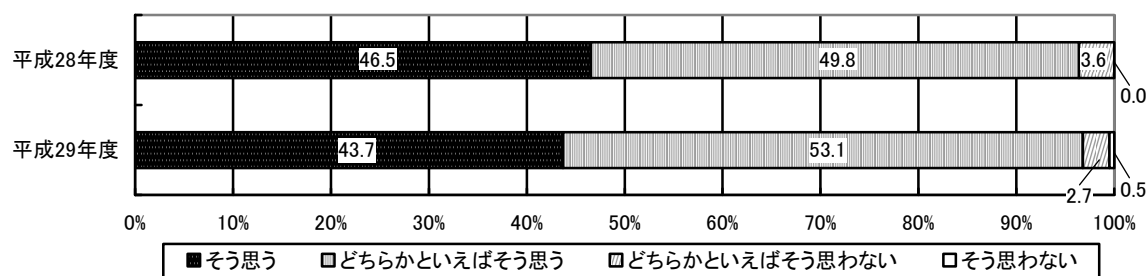
生徒の落ち着きと平均正答率との関係	平均正答率（％）					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	73.8	57.4	55.0	57.3	67.1	62.1
どちらかといえばそう思う	72.5	55.7	52.0	56.6	63.1	60.0
どちらかといえばそう思わない	68.7	49.9	46.3	51.6	57.9	54.9

(3) 生徒は礼儀正しい。



生徒の礼儀正しさと平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	74.2	57.0	55.0	57.7	67.0	62.2
どちらかといえばそう思う	72.2	55.7	52.2	56.0	63.6	59.9

(4) 生徒はきまりを守っている。

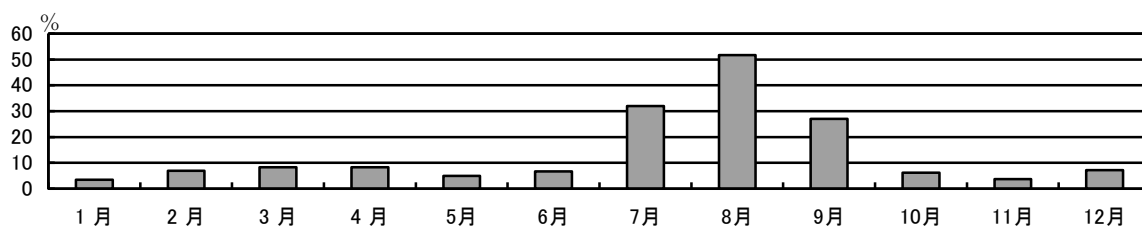


きまりを守ることと平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	73.9	57.3	54.9	57.4	66.6	62.0
どちらかといえばそう思う	71.6	54.6	51.0	55.5	62.6	59.1

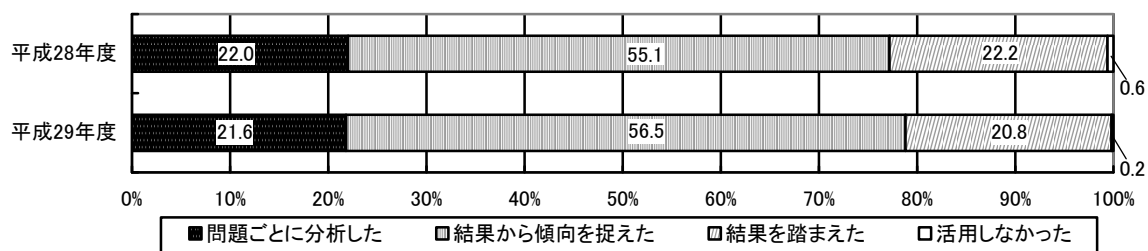
- ・ 学習態度にかかわる事項の質問について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した学校の割合は80%以上であり、昨年度より増加している。
- ・ 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した学校の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した学校の平均正答率よりも高くなっている。

2 授業改善に関する事項について

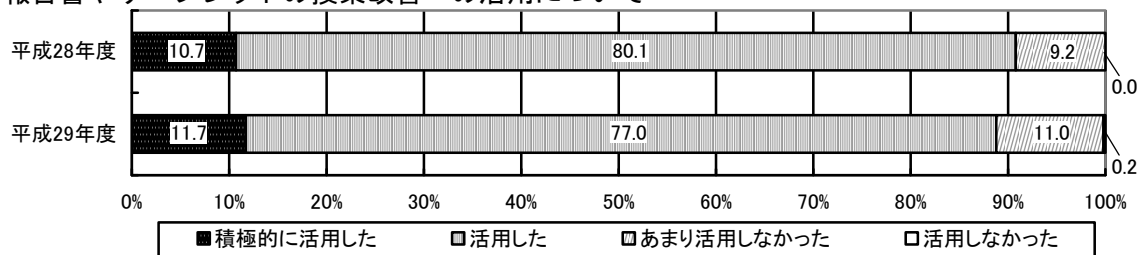
(1) 授業改善推進プランの作成時期について(複数回答)



(2) 授業改善推進プランを改善する際の調査結果の活用について



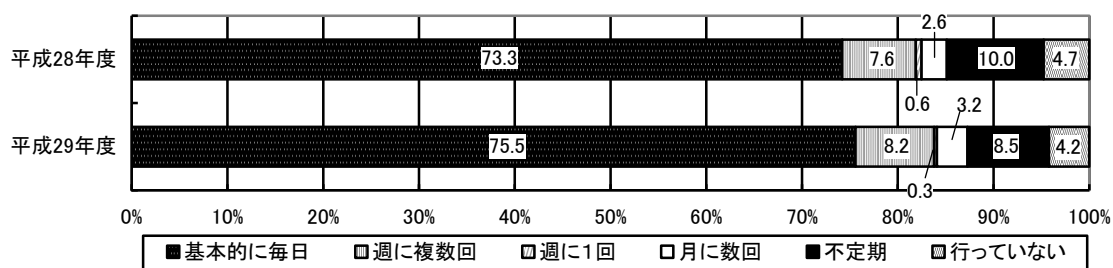
(3) 報告書やリーフレットの授業改善への活用について



- 授業改善推進プランの作成時期は8月が最も多く、次いで7月、9月となっている。このことから、本調査を7月に実施した後、自校の採点結果を踏まえて、授業改善推進プランの改善に生かしていると考えられる。
なお、授業改善推進プランは、国や区市町村独自の学力調査等も活用して、2回以上見直す(PDCA)ことが大切である。
- 授業改善推進プランの作成において、本調査結果や報告書、リーフレット等を活用している学校の割合は90%近くになっている。一方、報告書やリーフレットを「あまり活用しなかった」「活用しなかった」と回答した学校の割合は11.2%である。

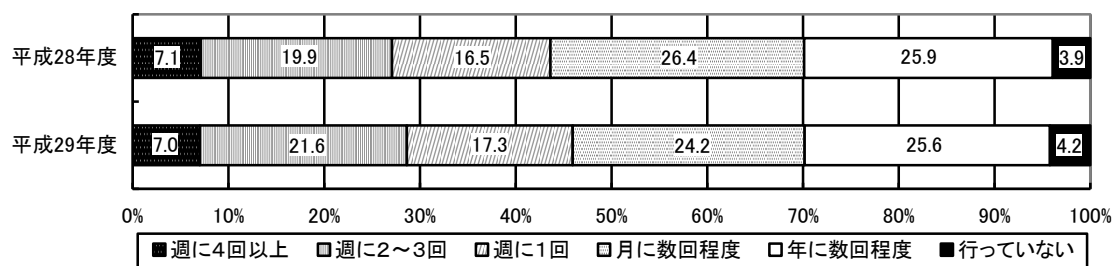
3 前年度に取り組んできたことについて

(1) 「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けたか。

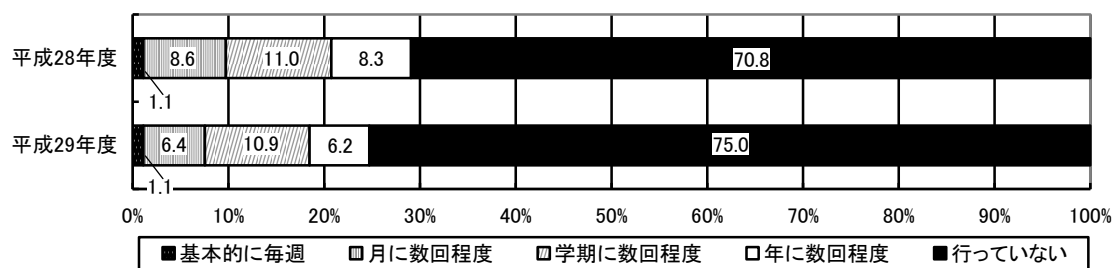


朝の読書と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
基本的に毎日行った	73.0	56.3	53.2	56.6	65.3	60.9
週に複数回、定期的に行った	77.8	59.9	59.8	60.5	65.4	64.7
週に1回、定期的に行った	-	-	-	-	-	-
月に数回程度、定期的に行った	72.9	58.3	54.2	57.6	66.1	61.8
不定期に行った	67.2	47.8	47.4	50.5	57.2	54.0
行っていない	72.6	56.2	52.7	56.8	65.4	60.8

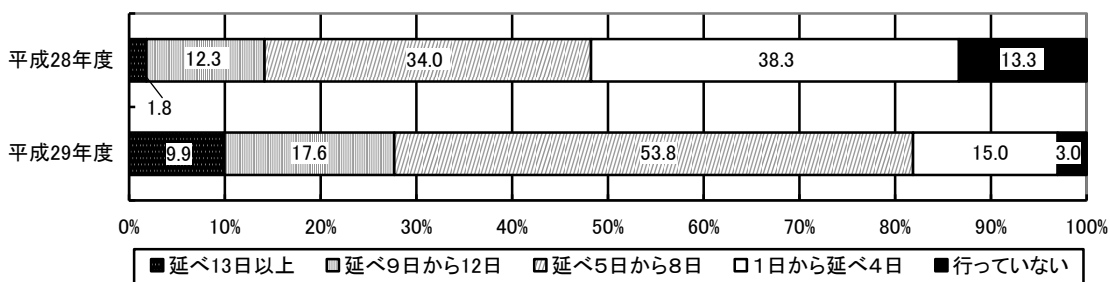
(2) 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施したか。



(3) 土曜日を利用した補足的な学習サポートを実施したか。



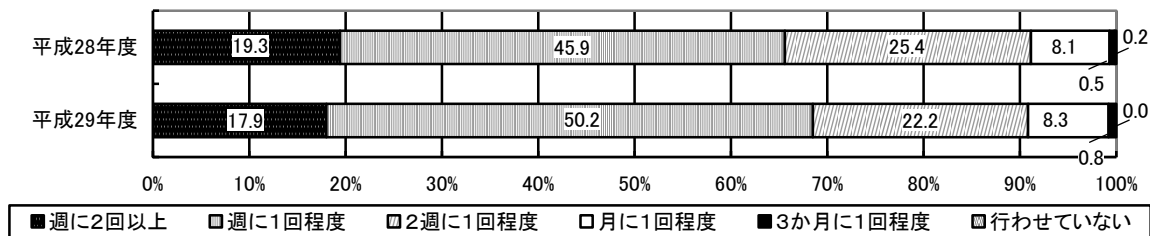
(4) 長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施したか。



4 理科の授業に関わる事項について

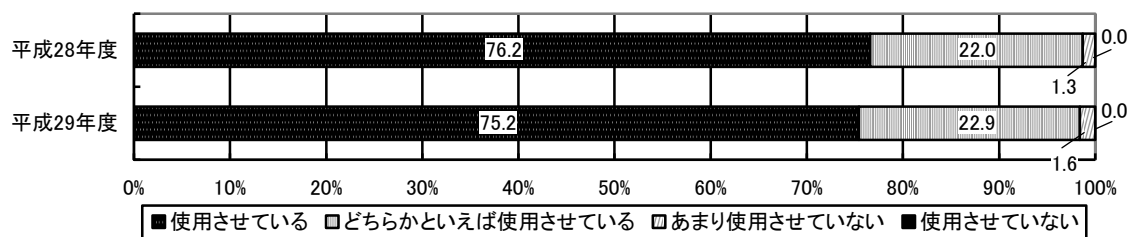
(1) 今年度の4～6月に観察・実験をどの程度行わせたか。

なお、ここでの「観察・実験」とは、生徒が実際に器具などを使って直接活動するものとし、観察・実験の方法を考えたり結果を考察したりするなど観察・実験の前後の時間は含まない。



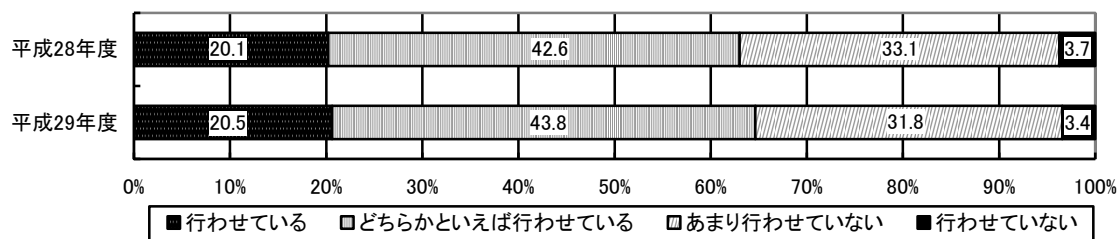
観察・実験の回数と平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
週に2回以上	57.3
週に1回程度	57.2
2週に1回程度	56.8
月に1回程度	53.5

(2) 観察・実験において、生徒に様々な器具や薬品等を使用させているか。



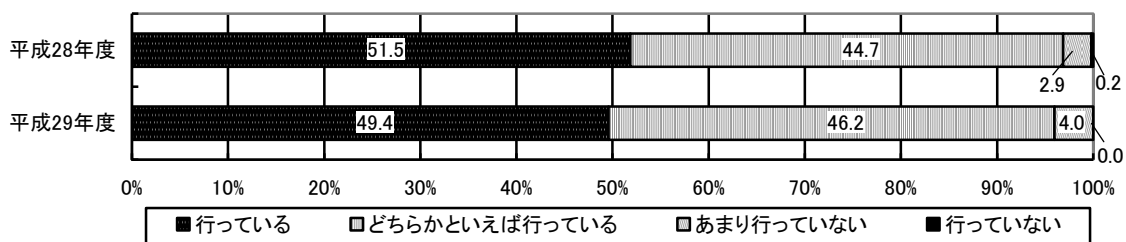
実験器具や薬品を使用する頻度と平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
使用させている	57.2
どちらかといえば使用させている	55.7

(3) 生徒の考えを生かした様々な方法で観察・実験を行わせているか。



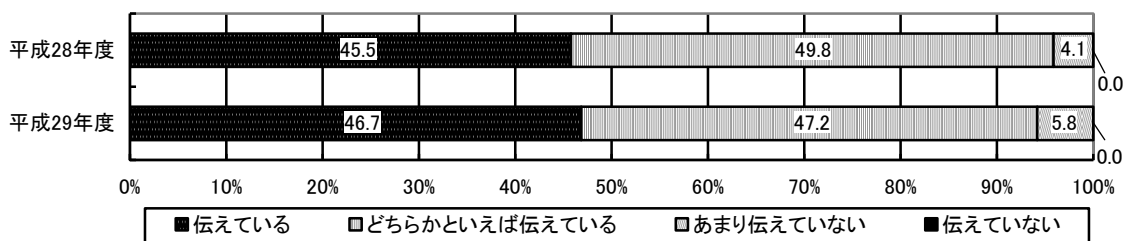
生徒の考えを生かした様々な方法での観察・実験の実施と平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
行わせている	59.0
どちらかといえば行わせている	57.1
あまり行わせていない	55.7
行わせていない	54.6

(4) 理科の学習内容と日常生活の事象とを関連付けた指導を行っているか。



理科の学習内容と日常生活の事象とを関連付けた指導の実施と 平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
行っている	56.9
どちらかといえば行っている	56.3

(5) 科学への興味を喚起することにつながる情報を生徒に伝えているか。

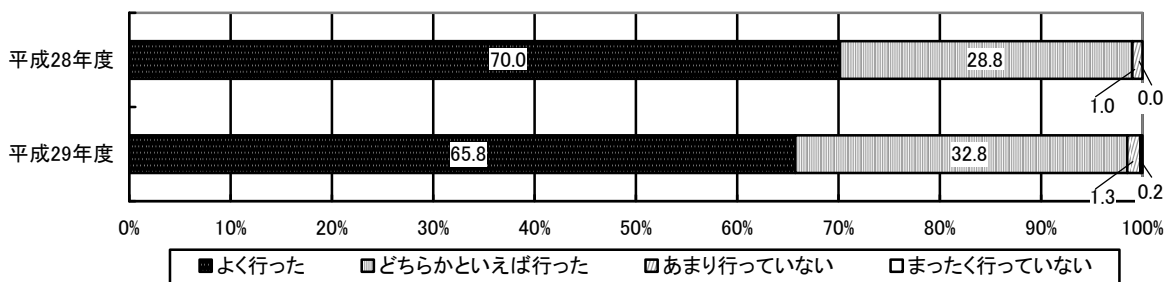


科学への興味を喚起することにつながる情報の伝達と 平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
伝えている	57.1
どちらかといえば伝えている	56.3
あまり伝えていない	57.1

- ・ (2)の質問について、「使用させている」「どちらかといえば使用させている」と回答した学校の割合は 98.1%であるが、(3)の質問で、生徒の考えを生かした観察・実験を「行わせている」「どちらかといえば行わせている」と回答した学校の割合は、64.3%である。

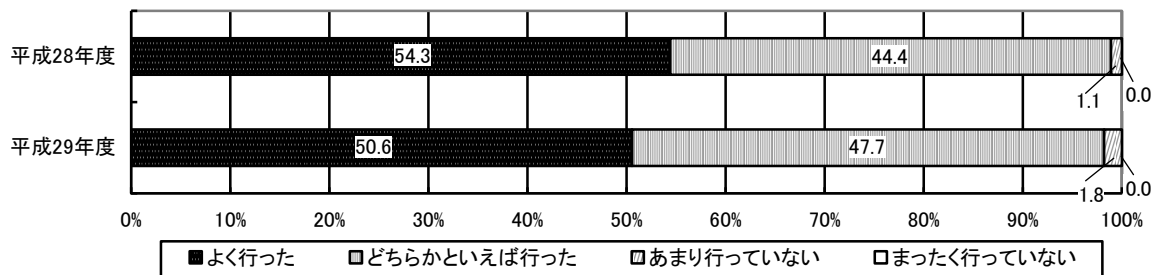
5 指導等に関わる事項について

(1) 学習規律の維持を徹底した。



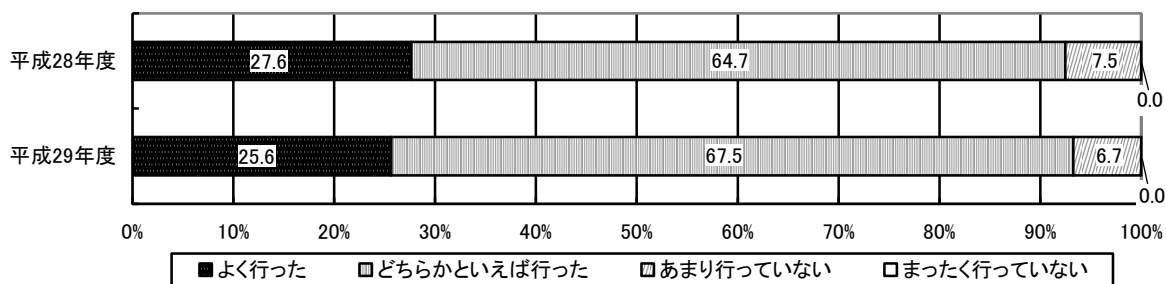
学習規律の維持と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	73.3	56.3	53.8	56.5	65.4	61.1
どちらかといえば行った	71.9	56.1	52.0	57.0	63.6	60.1

(2) 学習方法に関する指導を行った。



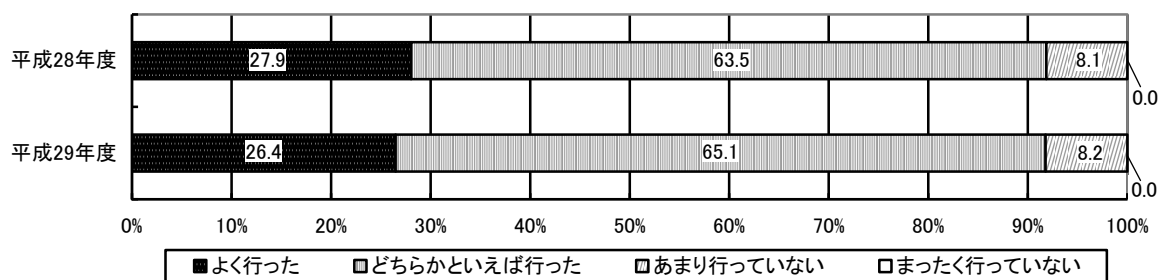
学習方法に関する指導と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	73.9	56.6	54.8	57.4	66.7	61.9
どちらかといえば行った	71.9	55.8	51.3	55.7	62.8	59.5

(3) 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行った。



考えを引き出したり思考を深め たりする発問や指導と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	75.1	58.2	57.3	59.1	68.0	63.5
どちらかといえば行った	72.6	55.8	52.4	56.1	64.5	60.3
あまり行っていない	72.0	55.7	53.3	55.6	62.9	59.9

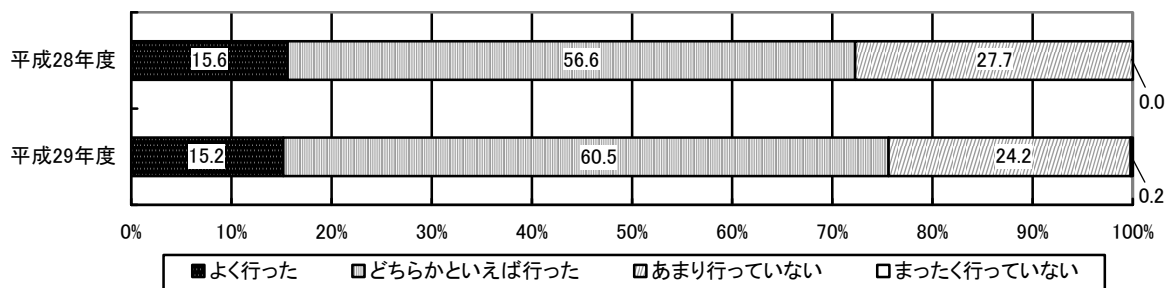
(4) 思考力・判断力・表現力等を育むための言語活動の充実を図った。



言語活動の充実と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	75.6	58.5	57.5	59.6	68.2	63.9
どちらかといえば行った	72.3	55.6	52.1	55.7	64.1	60.0
あまり行っていない	72.2	55.6	51.6	56.7	63.2	59.9

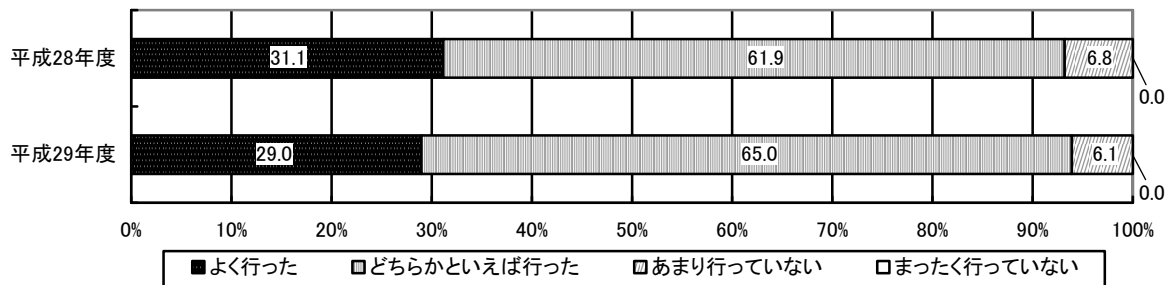
- ・ (1)から(4)までの質問について、「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の割合は、90%以上である。一方、(3)と(4)の質問について「あまり行っていない」と回答した学校の割合は、それぞれ6.7%、8.2%である。
- ・ (3)の質問について、「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校の教科合計の平均正答率は、「あまり行っていない」と回答した学校よりも高くなっている。

(5) 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くように指導を行った。



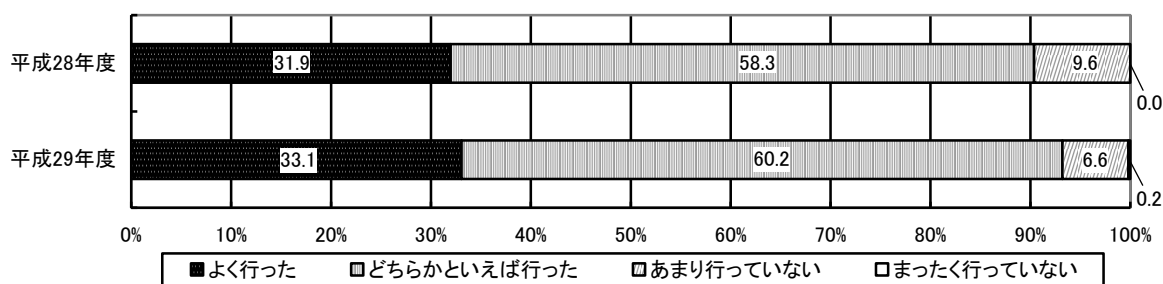
資料の調べ方に関する指導と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	75.6	58.2	57.4	59.3	69.4	64.0
どちらかといえば行った	73.1	56.1	53.8	56.9	64.6	60.9
あまり行っていない	71.7	55.5	50.9	55.0	63.3	59.3

(6) 生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めた。



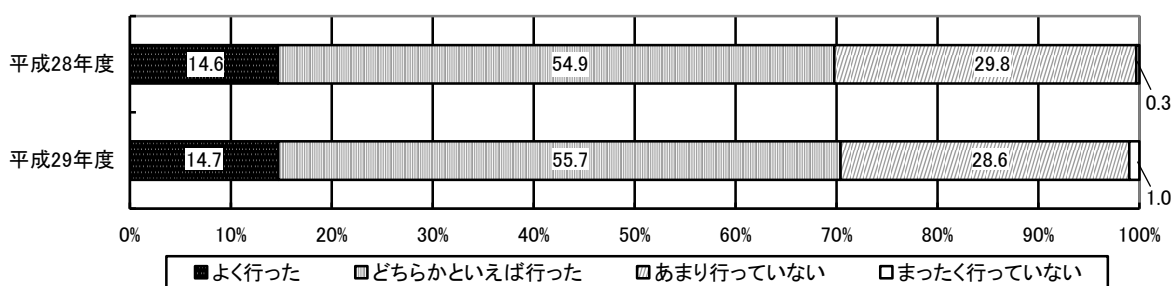
生徒の活動の時間の確保と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	75.0	58.6	56.6	59.2	67.9	63.4
どちらかといえば行った	72.4	55.5	52.4	56.0	64.0	60.1

(7) 学級やグループで話し合う活動を授業などで行った。



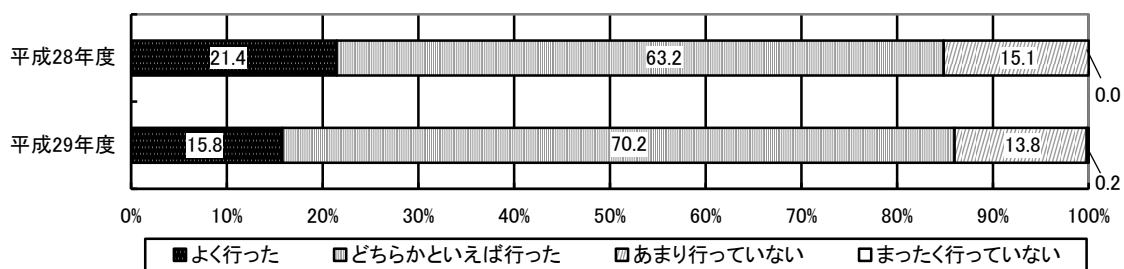
話し合う活動と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	74.4	57.4	54.6	58.0	66.3	62.1
どちらかといえば行った	72.2	55.6	52.6	56.0	64.3	60.1
あまり行っていない	70.3	51.2	48.9	51.2	59.4	56.2

(8) 授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現する等の学習活動を取り入れた。



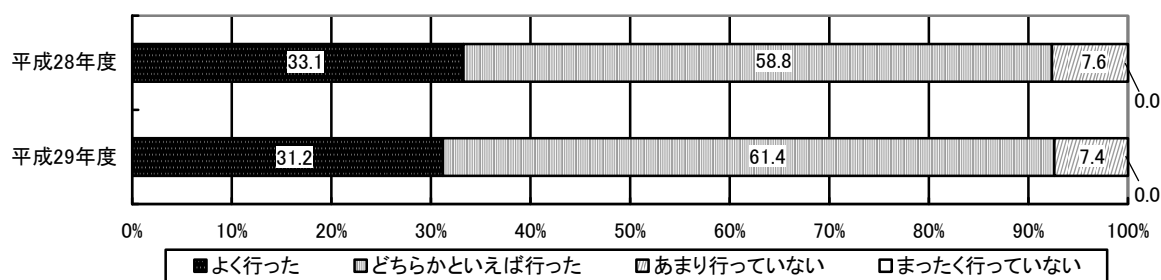
問題解決学習と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	75.3	58.3	56.5	59.2	67.5	63.4
どちらかといえば行った	73.2	56.4	53.1	56.9	65.1	60.9
あまり行っていない	71.6	55.1	52.2	55.1	63.5	59.5

(9) 資料を使って分かりやすくまとめられるように指導を行った。



資料を使ってまとめさせる指導 と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	76.0	58.5	57.9	58.6	68.1	63.8
どちらかといえば行った	72.7	56.2	52.7	56.8	64.8	60.6
あまり行っていない	71.2	53.8	51.1	53.9	62.4	58.5

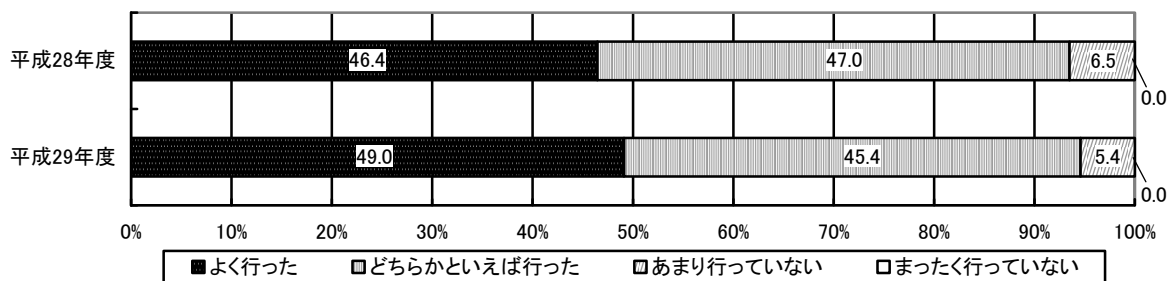
(10) 調べたことや考えたことを文章に書かせたり、発表させたりする指導を行った。



調べたことや考えたことを表現さ せる指導と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	74.9	58.1	56.6	58.2	67.1	63.0
どちらかといえば行った	72.7	55.9	52.8	56.4	64.3	60.4
あまり行っていない	70.4	53.7	48.6	54.2	63.9	58.2

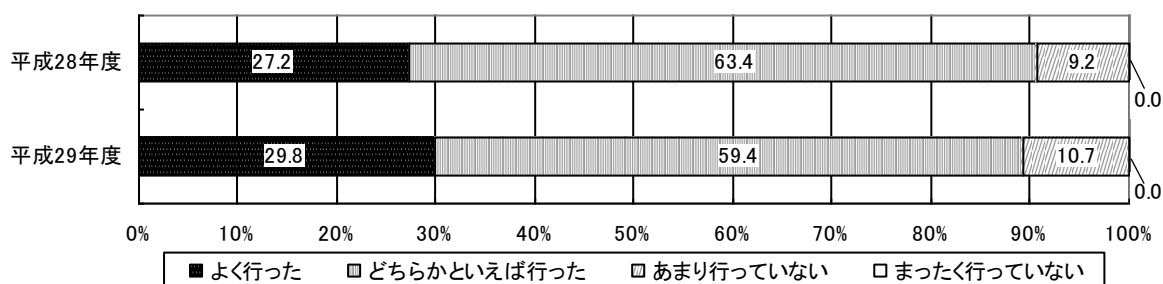
- ・ (5)から(10)までの質問について、「よく行った」「どちらかといえば行った」と回答した学校はおおむね70%以上である。一方、「あまり行っていない」「行っていない」と回答した学校の割合は、約7%~29%である。
- ・ (5)から(10)までの質問について、「よく行った」と回答した学校の平均正答率は、「どちらかといえば行った」「あまり行っていない」と回答した学校の平均正答率よりも高くなっている。

(11) 授業の中で目標（めあて・ねらい）を生徒に示す活動を計画的に取り入れている。



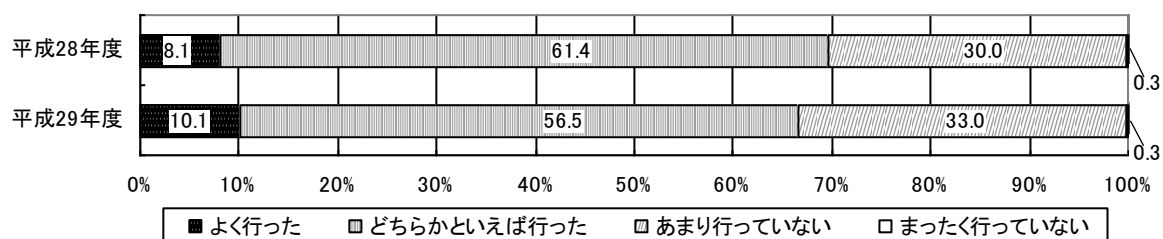
授業の中で目標を生徒に示す 活動と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	73.0	56.0	53.8	55.9	65.2	60.8
どちらかといえば行った	72.9	56.4	52.5	57.6	64.4	60.8

(12) 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた。



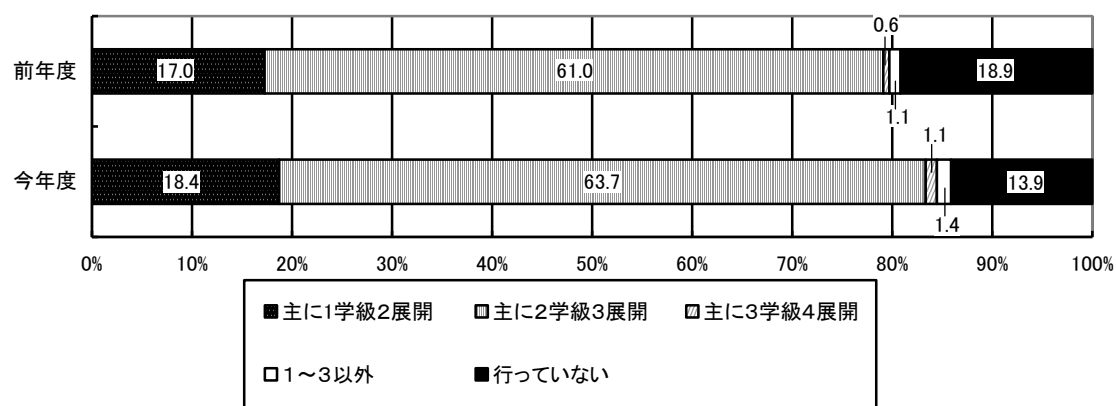
振り返る活動と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	73.5	56.8	55.1	56.6	66.4	61.7
どちらかといえば行った	72.9	56.1	52.7	56.8	64.2	60.5
あまり行っていない	72.2	55.3	51.5	56.2	65.3	60.1

(13) 生徒に対して、その日に指導した学習内容について、家で何をどのように復習すればよいのかを具体的に示した。



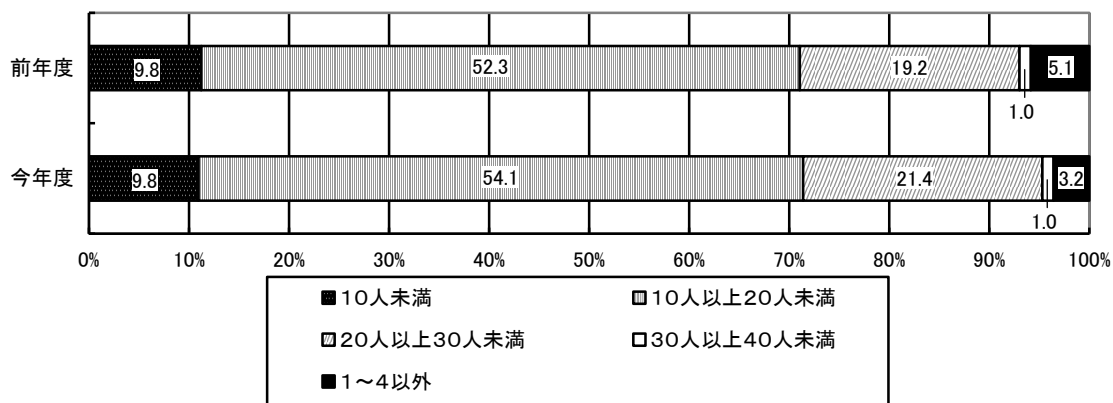
具体的な家庭学習の方法等の 指導と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく行った	78.0	59.1	64.6	59.2	69.2	66.0
どちらかといえば行った	72.6	55.8	52.6	55.8	64.5	60.3
あまり行っていない	73.2	56.6	53.3	58.0	65.3	61.3

6 数学の授業における習熟度別指導の展開数



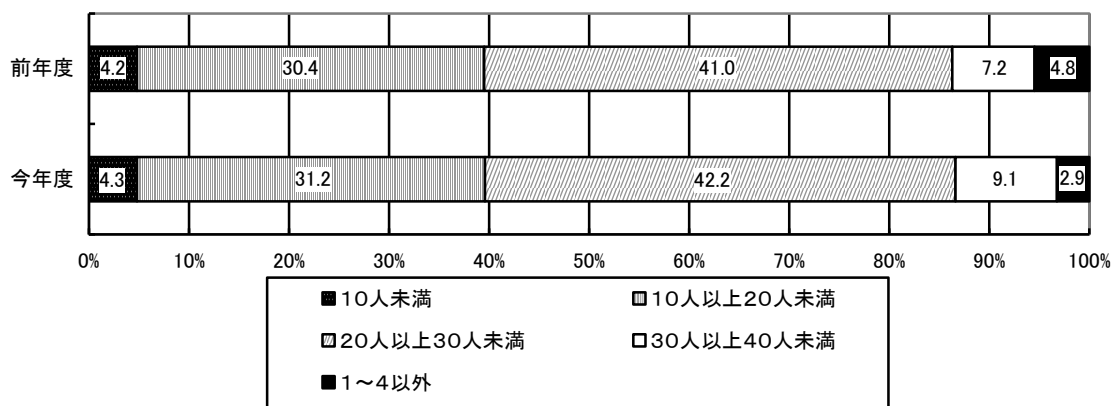
数学の授業における習熟度別指導の展開数と 平均正答率との関係	数学の平均正答率 (%)
主に1学級2展開	56.3
主に2学級3展開	53.1
行っていない	51.9

7 数学の授業における習熟度別指導で、習熟の最も遅い生徒のグループの人数



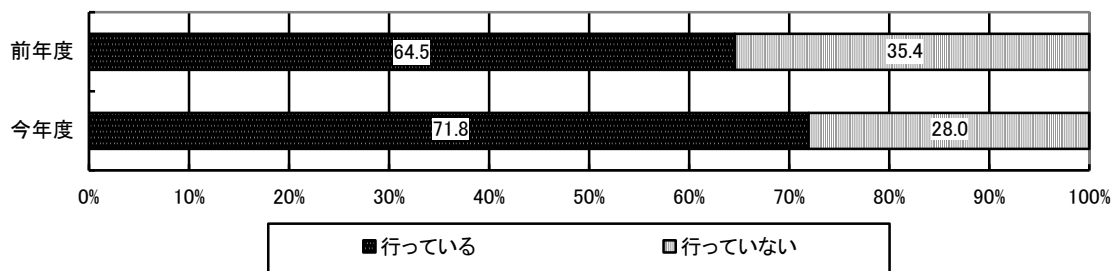
数学の授業における習熟度別指導で、習熟の最も遅い生徒のグループ の人数と平均正答率との関係	数学の平均正答率 (%)
およそ10人未満	54.8
およそ10人以上20人未満	53.4
およそ20人以上30人未満	53.3

8 数学の授業における習熟度別指導で、習熟の最も早い生徒のグループの人数



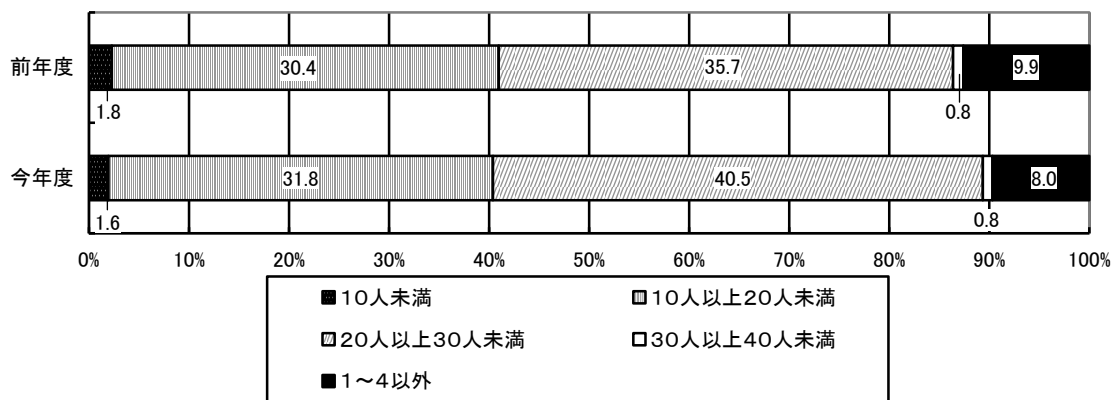
数学の授業における習熟度別指導で、習熟の最も早い生徒のグループ の人数と平均正答率との関係	数学の平均正答率 (%)
およそ10人未満	41.2
およそ10人以上20人未満	51.8
およそ20人以上30人未満	54.4

9 英語の授業における少人数・習熟度別指導を行っているか



英語の授業における少人数・習熟度別指導を行っているかと 平均正答率との関係	英語の平均正答率 (%)
行っている	65.5
行っていない	64.1

10 英語の授業における1グループの人数



英語の授業における習熟度別指導で、習熟の最も遅い生徒のグループ の人数と平均正答率との関係	英語の平均正答率 (%)
およそ10人以上20人未満	64.1
およそ20人以上30人未満	66.1
およそ30人以上40人未満	61.9